

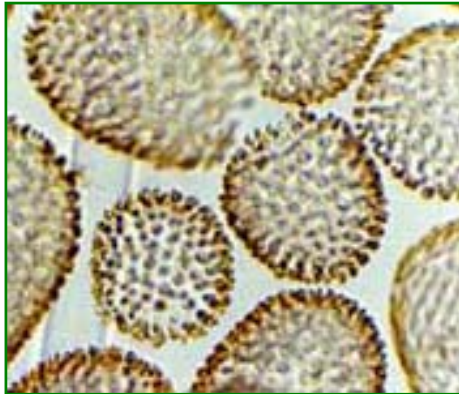
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第34報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年11月25日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナが最も多かった。しかし昨年度と比較すると、その細胞数は少ない傾向にある。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシと太陽虫類のアカントキスティスが多く計数された。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	690

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	650

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年11月25日

第34報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	660		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	40		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion conicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	20		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	130		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	48		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	2		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	2		
(緑) <i>Closterium gracile</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	880	76.1	62.4
(珪) 珪藻綱	100	8.6	14.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	12.1	4.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	37	3.2	19.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1157	総体積	5.99E+05
種 類 数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。